

感想文集

ひめゆり



第 11号

ひめゆり平和祈念資料館

感想文集

ひめゆり

第 11 号

ひめゆり平和祈念資料館

感想文集編集員

宮 良 ル リ
津波古 ヒ サ
島 袋 淑 子
宮 城 喜久子
(資料館担当職員)
前 城 淳 子
普天間 朝 佳

感想文集

ひめゆり 第十一号

二〇〇〇年六月二十三日

発行 ひめゆり平和祈念資料館

糸満市字伊原六七一―一

電話 〇九八―九九七―二二〇〇

FAX 〇九八―九九七―二二〇二

印刷 文進印刷株式会社

糸満市西崎町五丁目十一―十四

電話 〇九八―九九四―五七七七

(非売品)

はじめに

昨年度は、沖縄の未来にとって大きな岐路に立たされた年となりました。

沖縄でのサミットの主要開催の決定（昨年四月）、米軍用地特別措置法再改正案の成立（六月）、知事による普天間飛行場移設先の名護市辺野古沿岸域への決定（十一月）、県議会での「二坪反戦地主の県機関からの排除についての陳情」の採択（今年三月）と、沖縄の未来の在り方を左右する重要な決定が次々と下されましたが、それらには反対の声も根強く、まだまだ県民の総意にはなっていないません。日本全体を見ても、一昨年成立したガイドライン関連法案の問題点が引き続き昨年も議論され、六月に可決された国旗国歌法案に対しても賛否両論の議論が続いています。

昨年、ここ沖縄で特に大きな問題となったのが、新しく建て直された沖縄県立平和祈念資料館の「展示変更問題」でした。「日本軍の残虐性が強調され過ぎないように」という県当局の意向を受け、「住民に銃を向けていた日本兵から銃が取り去られる」など、数十項目にわたる展示の変更が指示され、マスコミに取り上げられ社会問題化しました。結局多くの県民の批判を浴び、当初の計画に戻されることになりましたが、県の平和行政に対する県民の不信感が完全に払拭されたとは言えません。

そしていよいよ、安保や軍事力行使を積極的に肯定する知識人が、沖縄にも登場しました。あの大

戦から五十有余年、沖縄は、そして日本はどこへ向かおうとしているのでしょうか。戦争の悲惨さを、沖縄戦の実相を伝えていくのは、「歴史に対して過度の説明責任を求めたがる論理」なのでしょうか。国際紛争の解決のためには本場に「軍事力を行使することも止むを得ない」のでしょうか。今、沖縄は戦後最大の岐路に立たされていると言えるのかもしれませんが。

一九九九年六月二十三日

財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり同窓会立
ひめゆり平和祈念資料館

【編集に際して】

- この文集に掲載された感想文は、一九九九年四月一日から二〇〇〇年三月三十一日までのものです。
- 二万九千四百五十九点の中から紙面の都合で二百十四点にしぼり、年別に編集いたしました。
- 当館の理念に共感するもの、異なった視点から述べられたものなど、できるだけ幅広く取り上げました。
- (掲載できなかった感想文は資料として三年間保存致します)
- 感想文を提供して下さった方々のお名前、職業または学校名はご本人の許可を頂いて掲載いたしました。
- イニシャルまたは匿名を希望された方の場合にはご希望通りにいたしました。
- 県名・年齢は全員掲載いたしました。
- お名前、ご住所等が記載されていなかった感想文は、掲載の許諾を問い合わせることができず、そのまま無記名で掲載させて頂きました。
- ひめゆり部隊と書かれたものは、ひめゆり学徒隊と訂正いたしました。
- 見出しは、編集部員でつけさせて頂きました。

目次

はじめに	4
幼稚園・小学生	28
中学生	50
高校生	76
大学生	90
二十五歳未満	106
二十五歳以上	128
三十五歳以上	142
四十五歳以上	154
五十五歳以上	164
六十五歳以上	174
年齢なし	176
外国人	204
寄せ書き	206
おわりに	208
開館以来十一カ年の 感想文の統計	

海あおく 緑したたる うるま島

ブーゲンビリアの花赤く 風ふきわたる うるま島

古の大陸の民、島々の民、共に

仲良く暮らせし うるわしの島

何ゆえか わからぬままに 乙女らは

鉄の雨あび 火にやかれ

天下国家の名のもとに 尊き生命ちらしたり

うら若き ほりふかき南国の乙女等よ

力も知識も 勝りたる 軍隊に手むかう術もなく

医学さえも 殺りくのためもちいられ

美しき花をふまれたる如くに息たえたり

その調べは 暗く 深く そこしれぬ



地獄の如く 今もなお

訪ねん人を むかえたり

静かに首をたれん 深く祈らん

平和と人の尊厳を

願わくば またこの島に生まれきて

ガジュマルの強き生命もち

パーランク 打ちて 三線 つまびき

四ツ竹打ちて 手抽子うちて

共に喜び たたえつつ

共に生きなん 永遠に生きなん

—心よりの哀悼をこめて—

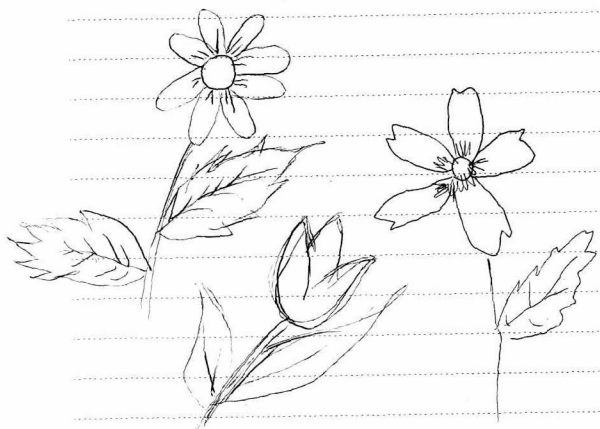
宮城県 主婦 46歳 石野由子

宮崎県 あけぼのようちえん 5歳 あさくらまさひろ

あなひょういんで「はい」いたちが
かんひょうしてとんなに「まとも」はくた
んがあちか「しりた」いそ「そ」して「よせ」
しあがひょういんだ「つた」しりたいで「す」
それに「あゆり」か「ぐん」か「なん」に「ん」いた「の」も
しりたいで「あ」に「ん」で「もの」つて「よ」かった
で「お」あんと「う」に「か」なしかつた「い」す。

幼稚園生・小学生

わ
せんそうは ~~こ~~い ですでも いぶんの
あたまでかんがえれば じぶんは
かみこまの ゆったとうりで
なおっていくのです
♡もうにととせんそうはおこらないでください
それで * おともだちとあそべます
じぶんもよくとあそべる
あなたは じぶんのきもち ~~き~~わかったら
もうにととせんそうは よこてはいけな
いおはな ~~や~~がいてそなえます



お名前 [NAME]	職業又は学校名 [OCCUPATION OR SCHOOL]	年齢 [AGE]
かでかるみり	よぎ小学校2年	8才
住所 [ADDRESS]		電話番号 [TELEPHONE]
おきたるわけん		() -

感想 [IMPRESSION]

わたしは、せんそうの話を聞いて、かん
どうしました。

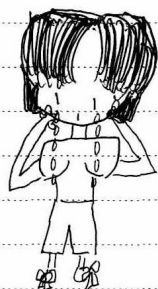
みんなみつかってかわいそうだな
みんな、よういくの中に、いたをいれたらで
ほうでしたるからたのにと思います。

でもわたしは、せんそうの時に生れたくてよ
かったなと思いました。

いなかたくさんの方がしんたらわたしはしんで
かもしれなうと思いました。

でもわたしはラッキーです。

わたしは、こんするぐらいほらあなにすい
したなと思いました。



かなしいな

お名前 [NAME] 松澤南依	職業又は学校名 [OCCUPATION OR SCHOOL] 国府台女子学院 小笠原	年齢 [AGE] 11
住所 [ADDRESS] 千葉県		電話番号 [TELEPHONE] () -

感想 [IMPRESSION]

もう一度、お母さんに会いたい、もう一度太陽の下を歩きたい。くやしいね。この言葉を聞いた時、いっきに涙があふれそうになりました。

今、私は千葉県であたり前のように 青空の下で歩いたり、走ったりしています。空を見れば！

白い雲がういています。

でも、今から54年前は、全くちがいます。

ごつの中で、90日間、お風呂にも入らずにいる、空の下では歩けない、空を見れば、はくたんか！とんでくる。

もし私たちが、ひめゆりの女の子だったら、本当に、死にたいと思うでしょう。

今、お風呂に1日入らなかったという、不潔だと言われて、いじめをされる場合もあります。

でも昔は、あたりまえだ！というので本当にびっくりしました。

私は、この話をきいて、平和、そして、命を大切にしたい！です。

自分たちを守りたかったら戦争をしてはいけない

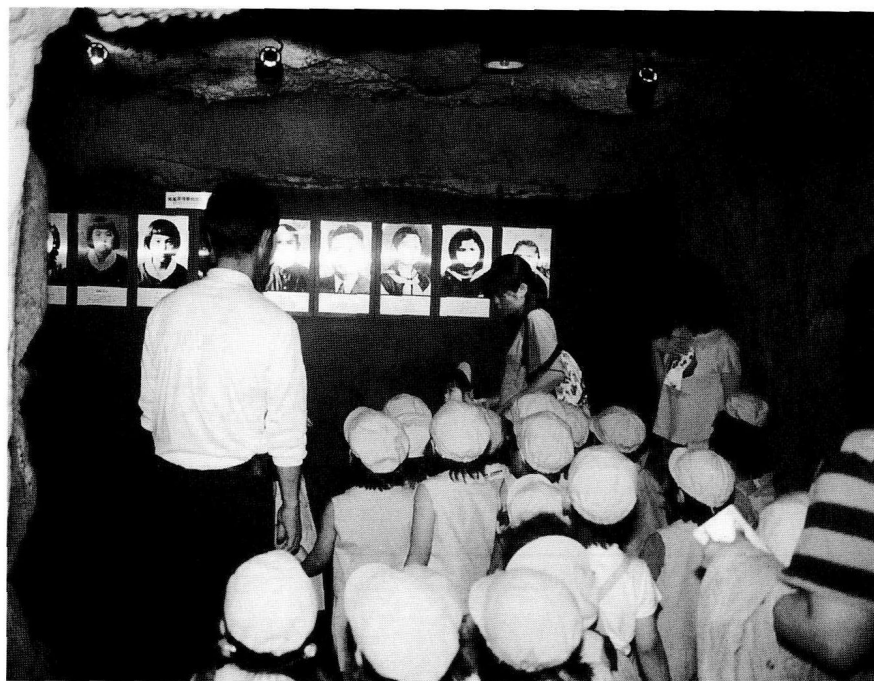
宮崎県 宮崎大学教育文化学部附属小学校 9歳 柳川亜由美

私は、この「ひめゆりのとう」にくる前に、ひめゆりのとうのビデオを見ていました。だから、いみなどは分かっていた。でも、ないようななどは少しちがっていたようです。

少し前に学校の「そう合」という勉強で宮崎のせんそうについてしらべていた時、それにひめゆりのとうをみおわった時にかんじたことは、やっぱり同じでした。「悲しい、とても悲しい。」ということ。宮崎にもおきなわの人がにげてきたそうですが、おきなわの人は、ほとんど亡くなったそうです。とてもかわいそうでした。

ひめゆりのとうも同じです。お母さんにいっぱいおしえてもらったのですが、米軍につかまった方がよかったと思います。つかまっていれば死亡する人も少なかったことでしょう。

もうぜつたいにせんそうをしたらいけないと思いました。あいてにどんなにはらがたつても、人が死ぬということより、ぜつたいましなんだから、自分たちを守りたかったら、せんそうをしちゃいけない、と思う心が大切



だと思っています。これからの世界を大切にしたいと思ひます。



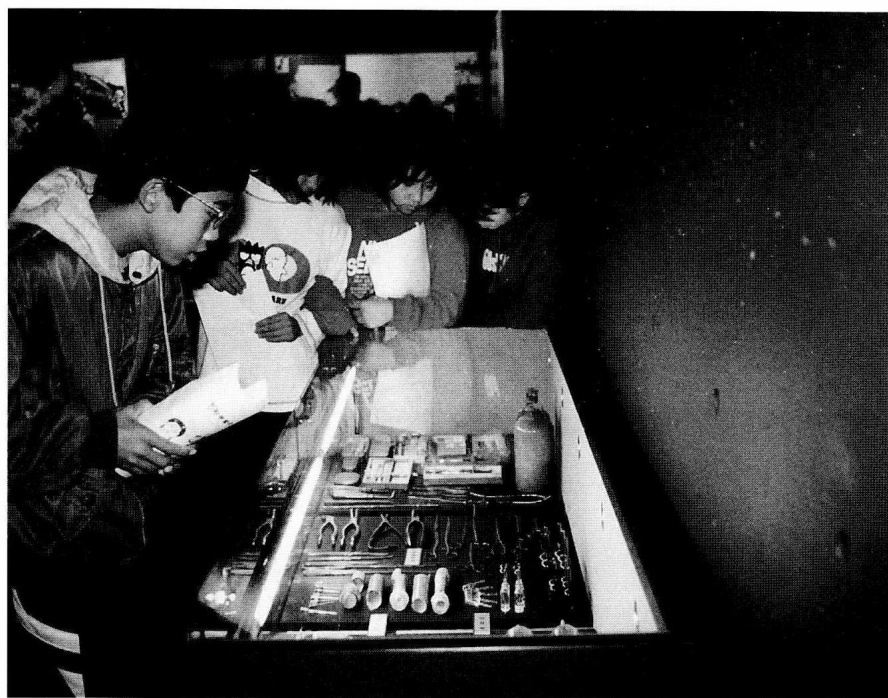
「じさつしよう」というしかなかったなんて…

京都府 松尾小学校 9歳 永峰初美

私は、おきなわにはじめてきて、「ひめゆりのとう」を見ました。たくさんの方がなくなつて、とっても、こわい気持ちになりました。ときどき思いだして、こわい思いがしそうです。死なずに生きのこつた人にせんそうの話を聞いてあなのなかでいっしょにいた人の頭が半分にわれた！とかきいて、すごいそうぞうをしてしまい、かわいそうな気持ちになります。きつと心にのこると思います。

なくなつた人の写真の下に、どういうふうになくなつたわけとかがかいてあつて、両うでを、ばくだんで、なくしたり、右足を、ばくだんでうたれて、びっくりして、なくなつたとかいてあつたり、あなの中で、家族で、「じさつしよう…！」とか、学校の先生が「じさつしよう！」とか、いうしかなかったなんて…。

とても、いやな、ぜつたいやめてほしい。ぜつたい、やつてほしくないせんそうだ。
せんそうは、いやだ！と思ひました。



せんそう時代の人たちのつらさがわかった

福岡県 筑紫東小学校 9歳 秦 千晶

十三歳の人や、十五歳など、いろんな年の人達がなくなっているとは、全く知りませんでした。この「ひめゆり」のしりょう館に来て、せんそうのおそろしさや、せんそうのかなしさが、よくわかりました。二十万人くらいの人々が、亡くなって、本当にせんそう時代の人たちのつらさがわかりました。

食料も、あまりなかっただろうし。とても、ざんこくだと思いました。今では、食べ物、食べたいときに食べられるし、昔は、男の人たちは、中学くらいの時からせんそうに行かなきゃいけなかったし、女の方は、かんごふさんの代わりをして、けがをした人たちのせわをしてあげなきゃいけなかったし。これからは、せんそうのない、平和で、楽しい国や世界にしたいと思いました。

だれが戦争を始めたんだ？といかりが：

沖縄県 高良小学校 9歳 松村史織

わたしは、久しぶりに来たひめゆりしりようかんです。せんそうのくるしさを少しずつわすれかけてしまったのですが、今日（十二月二十五日）行くということできました。ひめゆりがくたいの生きのこりの人々がせんそうのくるしさを、かなしいことをいろいろ話してくださいました。

ガラスケースにはめこまれているちゅうしゃき、ハサミ、葉がはいっていたビンなどがありました。

ごうの中のものも見ました。そしたら、ケガをしてくるしんでいた、皮づつのそこがありました。

それに、大きな本がありました。それを読んでみると、軍のめいれいで「歩けるものは、つれていけ！ 歩けないものは、つれていくな！」とひげきのめいれいでした。それを読んだわたしは、「いったい、だれがせんそうを始めたんだ？」とわたしの心で、いかりがばくはつしてしまいました。

けど、今は、平和でよかったです。ずーっとこれからせんそうがなく、平和な地きゆうでいたいと思っています。

